

この年表は、1979年(昭和54年)の第1回開催から数えて30回目となる昨年6月の測量調査技術発表会を記念して、この間の測量調査技術の変遷をパネル展示したものをベースに、測量調査技術に携わる多くの方々から寄せられた追加情報やご指摘を加味して作成したものです。当協会の機関誌は「AJA」から「先端測量技術」となって100号を発行することとなり、来年には財団設立30周年を迎えます。測技協にとって大きな節目を迎える今、改めてこの年表を見ますと、測技協に集う会員各社と各位が常に測量調査技術の先端を走り、わが国の測量調査分野をリードしてきた経緯が如実に見て取れます。また国土づくりや国土管理での貢献の歴史になっていることがわかります。なお、測技協は今後もこの年表を貴重な技術史として継続更新してまいります。

# 測量調査技術発表会31回のあゆみから見る 測量調査技術の変遷 -2009-

測技協技術委員会は、平成15年度まで9部門に分かれて活動していましたが、平成16年度に5部会に再編成され、今日に至っております。特に、第9技術部門は測量機器や材料について調査・研究し、平成15年2月には『測量機器の変遷』(非売品)をまとめ、関係機関に配布しました。これら第9技術部門の実績は、現在の5部会に引き継がれております。

年号	1979(S54)	1980(S55)	1981(S56)	1982(S57)	1983(S58)	1984(S59)	1985(S60)	1986(S61)	1987(S62)	1988(S63)	1989(H元)	1990(H2)	1991(H3)	1992(H4)	1993(H5)	1994(H6)	1995(H7)	1996(H8)	1997(H9)	1998(H10)	1999(H11)	2000(H12)	2001(H13)	2002(H14)	2003(H15)	2004(H16)	2005(H17)	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)			
測量調査技術発表会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回			
位置情報・応用計測	国土地理院つばし移転 国際地図学会会議(東京) 測技協財団法人認可(2月20日)	測距・測角一体型セオドライトが登場 セオドライト(ペンタックスフレシジョン) 光波測距儀(ケルン)			秋田沖・日本海中部地震(5月) 三宅島噴火(10月) 数値地図委員会始まる「産官学共同の研究(村井俊治座長)」	長野県西部地震(9月) アップルコンピュータ、マッキントッシュ発表	建設省公共測量作業規程の改正	三原山大噴火(11月)	四全総発表	ISPRS開催(京都)			雲仙・普賢岳火砕流(6月)	windows3.1発表		ISO/TC211設置(4月) 三陸はるか沖地震(12月)	ISO/TC211国内審議団体承認 官民共同研究H8-10:第一期H11-13:第二期H14-15:第三期その後JPGISに移行	地理情報標準(JSGI)H8-10:第一期H11-13:第二期H14-15:第三期その後JPGISに移行	京都議定書採決 伊能大図43枚発見される	windows98発表	ISO/TC211第9回総会開催(京都9月)	有珠山噴火(3月) 三宅島噴火(6月~9月)		「測量の基準」が世界測地系へ変更 地理情報標準の第2版作成	地上型レーザー(リール)	新潟・福島豪雨災害(7月) 新潟県中越地震(10月) スマトラ沖津波(12月)	地理情報標準プロファイル(UJGIS)作成	国土地理院と緊急災害撮影協定	海洋基本法制定 能登半島地震(3月) 測量法改正(4月) 新潟県中越沖地震(7月) 地理空間情報活用推進基本法成立(8月)	宇宙基本法制定 公共測量作業規程(準則)の改正(4月) ミャンマーサイクロン(5月) 中国四川省大地震(5月) 岩手・宮城内陸地震(6月) ISO/TC211第27回総会開催(12月)				
空中計測・マッピング	衛星画像計測・航空センサ技術・写真測量、画像処理、マッピング	デジタルマッピング・写真測量	デジタルマッピング・写真測量	デジタルマッピング・写真測量	斜め写真による写真測量の研究(道路等の斜面を対象)国土地理院・測技協S57-58	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)	DM標準フォーマット検討(1985~1986) → DM標準フォーマット案決定(→1994 公共測量作業規程)		
GIS	WMS, LBS, データコンテンツ, 地理情報システム, ソフトウェア, ハードウェア, データベース				不動産鑑定評価と数量化手法を融合した固定資産税土地評価システム開始(大垣市, 狭山市等)	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入	大分県大田村が初の「地籍管理GIS」を導入 国土地理院の印刷方式にCCPS導入		
国土管理・コンサル	空間情報利用技術, リモートセンシング, 環境, 防災, 土木設計	ERDAS発表	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)	アメリカ: LANDSAT 4 打ち上げ(1:1972, 2:1975, 3:1978, 5:1984, 7:1999)

道路・上水・下水・固定資産・都市計画などの行政業務支援GISのシステムが導入され始めた

90年代:GISが実用化

インターネットが普及

米)ゴア副大統領:スーパーハイウェイ構想発表

NSDI:オブジェクト指向技術・IT技術・空間データ標準化

ORACLE/INFOMIX/IBMがGISエンジン発表

W3Cからインターネット技術「XML」  
統一型GIS:個別アプリ同士がネットを介して共用する仕組み

東京都よりDMデータがビューワ付きCDで販売される

デジタル処理した鳥居画像

デジタル処理した鳥居画像

デジタル処理した鳥居画像

デジタル処理した鳥居画像

デジタル処理した鳥居画像